

新しい風を学会に

理事長就任にあたって

2012年9月1日

一般社団法人日本健康心理学会

理事長 田中宏二

岡山大学名誉教授

エグゼクティブアドバイザー

変革のポリシー



発信力
と

持続的発展

改革プラン

- I 健康心理学の学問的発展を促進する
(機関誌委・研究委・研究実践委)
- II 持続可能な学会運営 (事務局、広報委、財務委)
- III 会員とのコミュニケーションを活発化
(広報委)
- IV 健康心理士資格の有効化と活性化
(認定・研修委)
- V 学会の国際活動の活性化
(国際委、機関誌委、研究委)



I 健康心理学の学問的発展を促進する

(機関誌委・研究推進委・研究実践委)



- 1 グループ研究の推進・活性化
- 2 学会機関誌「健康心理学研究」の魅力・評価向上
- 3 研究と実践の好ましい関係

I 健康心理学の学問的発展を促進する
1 グループ研究の推進・活性化(研究推進委員会)

国民の健康を支える研究

→医学と連携する研究

がん



禁煙支援・禁煙治療

がん患者への心理的支援

うつ・自殺

職場のメンタルヘルス支援

学校ストレスマネジメント教育

メタボ予防・介護予防

身体活動、食行動

I 健康心理学の学問的発展を促進する

1 グループ研究の推進・活性化(研究推進委員会)

国民の健康を支える研究

→医学と連携する研究

介護・看護担当者支援



外国人看護師・介護士支援

災害対応

震災後の支援、防災・減災教育

地域の安全

■防犯、犯罪者復帰教育

- I 健康心理学の学問的発展を促進する
1 グループ研究の推進・活性化(研究推進委員会)
国民の健康を支える研究

→医学と連携する研究

研究グループを公募



資金援助 (10万円)

公募期間9/1～9/20 研究期間10/1～
9/30

公開支援 (シンポ、特集号)

文科・厚労科研推進

大型科研プロジェクト支援

I 健康心理学の学問的発展を促進する

2 学会機関誌「健康心理学研究」の魅力・評価向上(編集委員会)

近年の論文投稿状況

2012年6月19日現在

	全数	2012	2011	2010	2009	2008	2007	2006	新規	採択	不採択	取り下げ	期限切れ
2009年1月10日	60				0	32	19	9					
2009年7月17日	53				11	25	14	3	10	11	4	3	0
2009年11月16日	48				16	20	10	2	7	3	6	3	0
2010年6月16日	40			15	10	13	1	1	16	10	5	3	6
2010年12月24日	46			25	8	12	0	1	12	5	2	1	0
2011年2月14日	43		2	23	8	10	0	0	3	1	1	1	3
2011年9月6日	21		5	11	1	4	0	0	5	14	7	3	2
2012年6月18日	24	17	3	2	1	1	0	0	26	15	6	0	0

I 健康心理学の学問的發展を促進する

2 学会機関誌の魅力・評価向上

審査の迅速化



投稿を電子化

Vol.26 No1(2013)から

電子版ジャーナル配信
(希望者に冊子版提供)



I 健康心理学の学問的発展を促進する
2 学会機関誌の魅力・評価向上

J-STAGEに参加

発信力向上



採択論文をJ-STAGEに掲載

(フリーアクセス化)



研究推進委員
会と協議

公募・
依頼

特集号の編纂

健康・疾病予防の視点

がん、たばこ、レジリエンス、SOC、食行動、感染症、身体活動、
リラクゼーション、心臓疾患、医療コミュニケーション、病気
認知、スピリチュアリティ等

I 健康心理学の学問的發展を促進する

3. 実践研究を触発する好循環へ (研究実践委員会)

研究・実践活動奨励賞 創設



目的: 科学的研究に根ざした効果的実践ができる研究実践者グループを支援

Ⅱ 持続可能な学会運営 (事務局、広報委、財務委)



- 1 会員管理など事務局機能の外部委託化
- 2 持続可能な財務体質づくり

Ⅱ 持続可能な学会運営



- 会員管理など事務局機能の外部委託化
- 正確で適切な会員情報管理、
- 理事業務から煩瑣な事務業務を分離し、本来業務に専念できる体制

Ⅱ 持続可能な学会運営

持続可能な財務体質づくり

1) 事務局維持経費の削減

- 本部事務局と認定・研修事務局との統合
- 外部委託化(2013年1月より完全外部委託)

2) 収支の均衡のとれた予算計画



年度	収入	支出	収入－支出	繰越金*
2010	32,328**	20,289	12,038	10,038
2011	24,853	31,973	△7,119	2,919
2012	16,100	(17,172)	(△1,072)	(1,846)

単位:千円、()は見込み

*特定資産を除く。 **法人以降に伴う受入金18,835千円を含む

Ⅲ 会員とのコミュニケーションを活発化 (広報委)

1 ニューズレターヘルスサイコロジスト

年3回発行



2 メールマガジン:

新コミュニケーションツール

3 ホームページ:

1月リニューアル予定

Ⅲ 会員とのコミュニケーションを活発化(広報委)

1 ニュースレター **ヘルスサイコロジスト**

～年3回発行～



(1) 学会員の研究と実践の橋渡し

(2) 実践研究, 実践活動の展開
に役立つ内容, 学会の動向

(3) 大会のレポートなど本学会の
活動に関する総括記事

Ⅲ 会員とのコミュニケーションを活発化(広報委)

2 メールマガジン:

新しいコミュニケーションツール



健康心理学研究のトピックス

学会からの最新情報

→ 会員に一斉e-

mail

2012年8月第一号発信


以後 毎日発信

Ⅲ 会員とのコミュニケーションを活発化(広報委)

3 学会ホームページ

1月リニューアル(予定)

学会の一般的な情報



年次大会、機関誌、健康心理士認定・研修会、会務情報

会員専用コーナー「マイページ」新設

会員情報の随時更新

研究グループの情報

IV 健康心理士資格の有効化と活性化 (認定・研修委)

- 1 研修プログラム改革
- 2 実践モデルの事例紹介
- 3 心理師国家資格化を推進し、健康心理士養成制度との整合性を図る
- 4 健康心理士資格更新の促進:更新申請手引きの簡素化、マイページ確認



IV 健康心理士資格の有効化と活性化(研修委員会)

1 研修プログラム改革

実践的スキルに主眼

関東と関西で実施

2012年11月10日&11日 大阪

2013年2月16日&23日 東京

講義と実習がセット

基礎的研究技能と実践的技能

ポイント付与に幅(学会シンポを研修扱い、
他学会との連携でポイント相互付与を検討)



IV 健康心理士資格の有効化と活性化(認定資格委員会) ～健康心理士とは何か?の疑問に答える～

2 実践モデル事例を紹介

- [ヘルスサイコロジスト](#)誌に実践家を紹介
- [ホームページ](#)に専用コーナーを設置

3 国資格化「心理師」を推進し、健康心理士との整合性を図る

4 健康心理士の資格更新を促進

- 更新申請手引きの簡素化、マイページ確認



V 国際活動の活性化(国際委、機関誌委、研究委)

1 日本・アジアから研究情報を発信

欧米一辺倒からの脱却 → アジアの中の日本

国際学会・セミナーの開催

アジアから発信する英文誌の創刊



Asian Journal of Health Psychology (仮称)

2 若手研究者の国際研究集会への派遣支援

第5回アジア健康心理学会議(‘13年韓国)への旅費支援公
草